

留学史研究の現状について

中里見, 敬
九州大学大学院言語文化研究院

中村, みどり
早稲田大学商学学術院

<https://hdl.handle.net/2324/1958353>

出版情報 : 2018-10-03
バージョン :
権利関係 :

留学史研究の現状

中里見敬(九州大学) 中村みどり(早稲田大学)

留学史研究主要成果

- 實藤惠秀『中國人日本留學史稿』,財團法人日華學會, 1939
- さねとう・けいしゅう『中国人日本留学史』,くろしお出版, 1960;増補版, 1970
 - ✓ 譚汝謙,林啓彦譯『中國人留學日本史』,香港:中文大學出版社, 1982;北京:生活・讀書・新知三聯書店, 1983
- 仙台における魯迅の記録を調べる会編『仙台における魯迅の記録』,平凡社, 1978
 - 研究对象主要为赴日中国留学生
 - 多为鲁迅等著名作家学者

留学史研究新阶段：2000年至今

- 大里浩秋, 孫安石編『中国人日本留学史研究の現段階』, 御茶の水書房, 2002
 - ✓ 『近現代中日留学生史研究新動態』, 上海人民出版社, 2014
- 大里浩秋, 孫安石編著『留学生派遣から見た近代日中関係史』, 御茶の水書房, 2009
- 神奈川大学人文学研究所編；大里浩秋, 孫安石編著『近現代中国人日本留学生の諸相：「管理」と「交流」を中心に』（神奈川大学人文学研究叢書, 35）, 御茶の水書房, 2015
- **中国人留学生史研究会(第1回 1998年4月24日)神奈川大学**

留学史研究新阶段之特征

- ✓ 中日，日中往来：重视双方的互动性
- ✓ 除著名作家外，也将全体留学生纳入研究对象范围
- ✓ 通过留学这一视角，重新看待近现代史
- ✓ 重视资料发掘及整理
- **跨领域、跨学科聚焦“留学”**
- **中国人留学生史研究会（本部：神奈川大学）的贡献**

资料的发掘整理：以奈良女子大学及九州大学为例

- 奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター編
『奈良女子高等師範学校とアジアの留学生』（奈良女子大学叢書, 1）
敬文舎, 2016
- 忽略留学史的案例
 - 九州大学百年史編集委員会編『九州大学百年史』, 2017
- 重视留学史的案例
 - 九州大学大学文書館編『九州大学百年史写真集』, 九州大学百周年記念事業委員会, 2011

战前九州帝国大学的 中国女留学生



国立公文書館アジア歴史資料センター

資料の検索・閲覧 さざまなコンテンツ アジア歴史資料センターとは

国立公文書館
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records / National Archives of Japan

English 中文 한국어

アジア歴公開資料を検索します

データベース内検索 サイト内検索

文字サイズ 標準 大

アジア歴はインターネット上の資料館（デジタルアーカイブ）です。

国立公文書館、外務省外交史料館、防衛省防衛研究所から、デジタル化されたアジア歴史資料（近現代における日本とアジア近隣諸国等との関係に関わる日本の歴史的な文書）の提供を受け、データベースを構築してインターネットを通じて公開しています。

テーマ別歴史資料検索ナビ

アジア歴グロッサリー

インターネット特別展

公文書に見る「外地」と「内地」
—旧植民地・占領地をめぐる人的還流—

新規公開資料のお知らせ

18/08/24新着

サービスに関するお知らせ

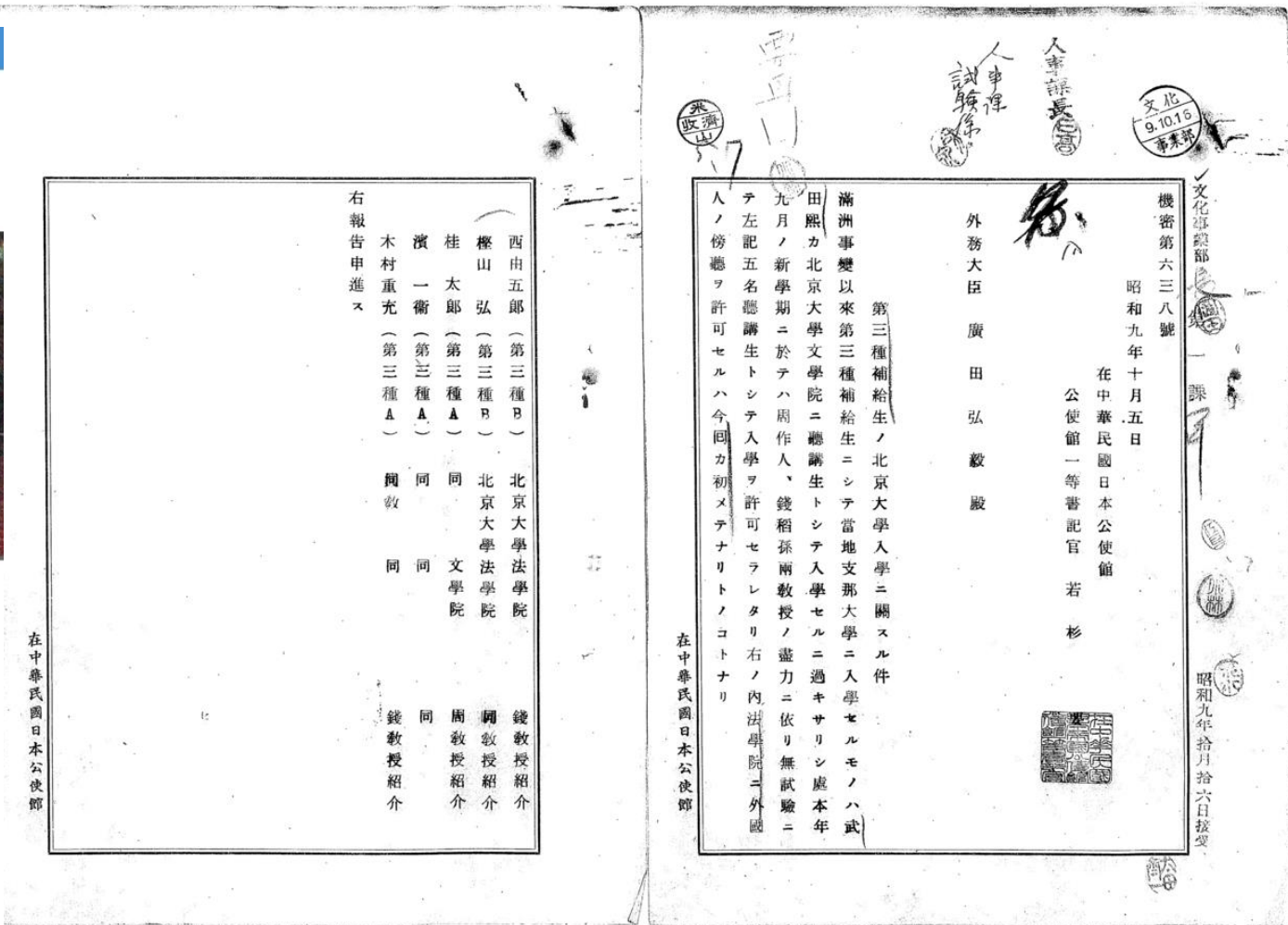
- 18/09/10 システム復旧のお知らせ(2018年09月06日発生分)
(2018年09月10日)
- 18/09/06 停電による北海道立図書館、北海道立文書館の資料閲覧一時停止について (2018年9月6日)
- 18/08/27 **(重要なお知らせ)** 資料画像(PDF)の表示不具合について (2018年8月13日)
※27日追記

資料修正等のお知らせ

18/08/31新着

その他のお知らせ

- 18/09/05 2016年度アジア歴グロッサリーQ&Aコーナーで新規コラムを公開しました。
- 18/08/22 2016年度アジア歴グロッサリーQ&Aコーナーで新規コラムを公開しました。
- 18/08/10 キーワード検索の達人になるう！「アジア地名・人名・出来事事典」を更新しました
- 18/06/29 ニュースレターを発行しました (第26号)



以档案为重要史料的研究实例

- 中里見敬「濱一衛の北平留学：外務省文化事業部第三種補給生としての留学の実態」、『言語文化論究』第35号（九州大学大学院言語文化研究院），2015
- ✓ 中国戏剧学者・濱一衛（1909~1984）
- ✓ 战前留学北平的日本留学生的学习和生活
- ✓ 濱一衛寄宿于周作人家的经历
- ✓ 《周作人日记》：周作人将**冰心《春水》手稿**赠与濱一衛
- ✓ **现存冰心手稿中最早最完整者**，发现于九州大学图书馆濱文库
→ 在中国引起极大反响

2018年2月6日于九州大学 召开国际学术研讨会

- 周作人的日本留学经历
- 冰心的美国留学经历
- 冰心任教于东京大学时期的经历
 - ✓ 东京大学首任女教师
- 濱一衛的北平留学经历
 - ✓ 周作人赠予濱一衛4幅书法作品
(周作人1幅、俞平伯2幅、錢玄同1幅)
 - ✓ 周作人与濱一衛的书信往来
- 新资料的发掘与整理

九州大学QRプログラム「人社系アジア研究活性化重点支援」
〈新資料発見に伴う東アジア文化研究の多角的展開、および国際研究拠点の構築〉

第1回「東アジアの交流と文学」国際シンポジウム

『春水』手稿と日中の文学交流

—— 周作人、冰心、濱一衛 ——

2018年2月6日(火) 10時～17時30分
九州大学伊都キャンパス 新中央図書館

10:00～12:00 記念セレモニー、基調講演

周吉宜 (前・中国現代文学館副館長)
周作人と冰心 —— 早期冰心女士と我が祖父の交流

小川利康 (早稲田大学教授)
小詩運動の周辺 —— 周作人と謝冰心

趙京華 (北京第二外国语学院教授)
東アジア同時代史の観点から見た中日文学

李莉薇 (華南師範大学副教授)
1930年代日本人学者の京劇観 —— 濱一衛の俳優評を中心に

14:00～17:30 学術シンポジウム

第1セッション
「『春水』の新たな読み、初期冰心の文学活動」

顧偉良 (弘前学院大学教授) 平石淑子 (日本女子大学教授)
佐藤善美子 (駒澤大学教授) 濱田麻矢 (神戸大学准教授)
松岡純子 (長崎県立大学教授)

第2セッション
「冰心関係の新資料、冰心と日本の交流」

牧野格子 (國學院大学准教授) 岩崎菜子 (立命館大学非常勤講師)
宮本めぐみ (立教大学短期大学講師) 虞萍 (南山大学講師)

ラウンドテーブルディスカッション
「『春水』手稿と日中の文学交流」

講演・シンポジウム発表者全員

潘世聖 (華東師範大学教授)
中里見敬 (九州大学教授)

論文参加

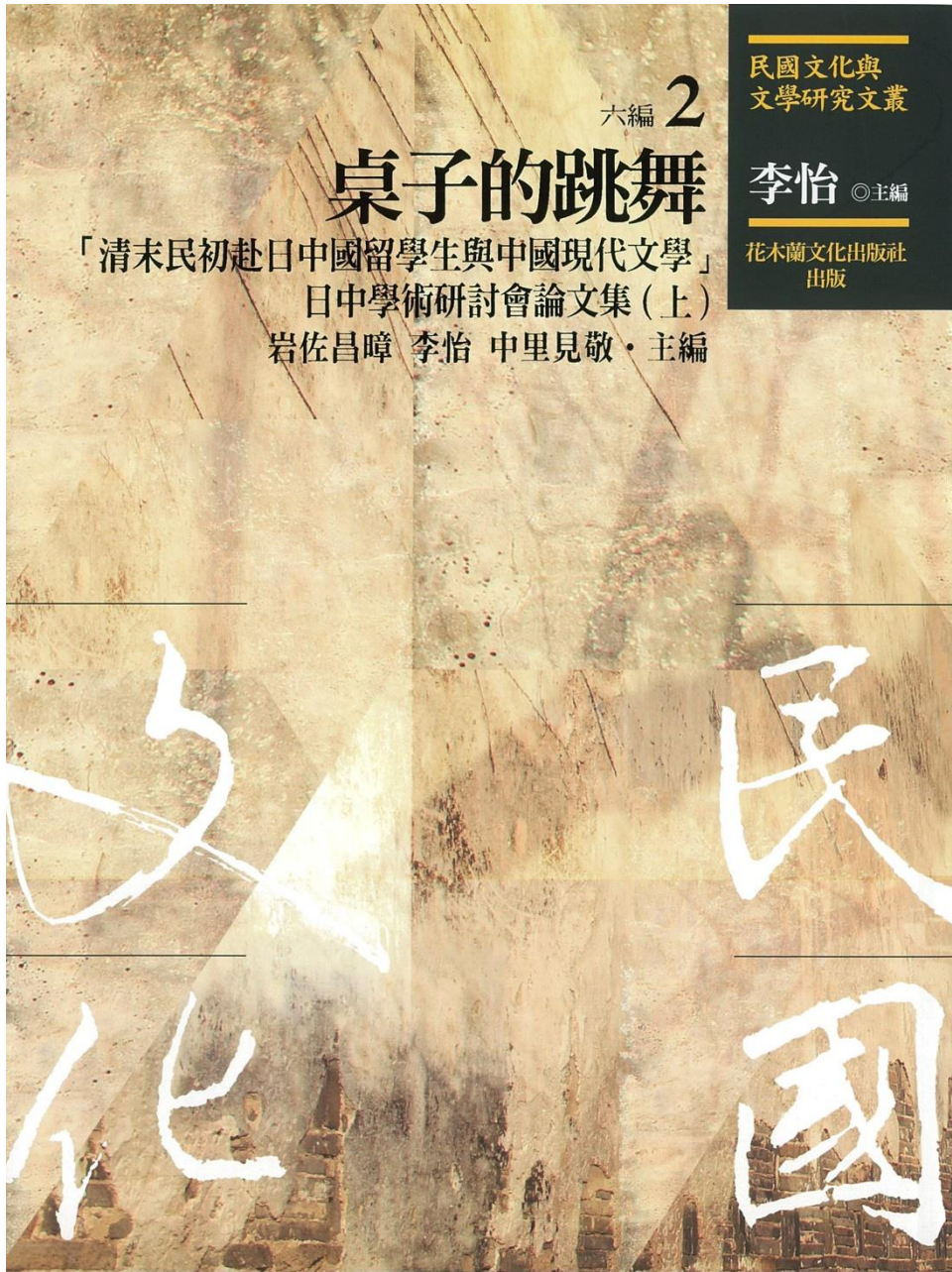
吳紅華 (九州産業大学教授)
鳥谷まゆみ (北九州市立大学准教授)



地球社会総合科学府「総合学際実証法」設置科目
主 催：九州大学QRプログラム「人社系アジア研究活性化重点支援」(新資料発見に伴う東アジア文化研究の多角的展開、および国際研究拠点の構築)
共 催：九州大学附属図書館、科研費基盤研究(B)「漢文書所産蔵書・レコードのデータベース化と保存法の改善」
連絡先：中里見敬(言語文化研究院) naka@ic.kyushu-u.ac.jp

“清末民初赴日中国留学生与中国现代文学” 日中学术研讨会 2015年3月25日 九州大学

- 除文学外，研究成果涉及教育史、美术史、思想史等多个领域
- 将**赴华日本留学生**纳入研究对象 → **留学的双向性**
 - ✓ 目加田誠、濱一衛（均为九州大学教授）
→ **包括著名作家以外者**
- 目加田誠『北平日記』，中国書店，将于近期出版
→ **新资料的发掘与整理**
- 由郭沫若研究会、日本现代中国学会、九州大学三个单位共同主办



《桌子的跳舞：清末民初 赴日中国留学生与中国现代文学》 花木兰文化出版社，2015



九州大学的中国留学生 大学交响乐队的中国留学生

- 以郭沫若、陶晶孫等人为发起人，在东京创立创造社
- 初期日本大学交响乐队中，陶晶孫发挥了重要作用

✓ 东北大、九大

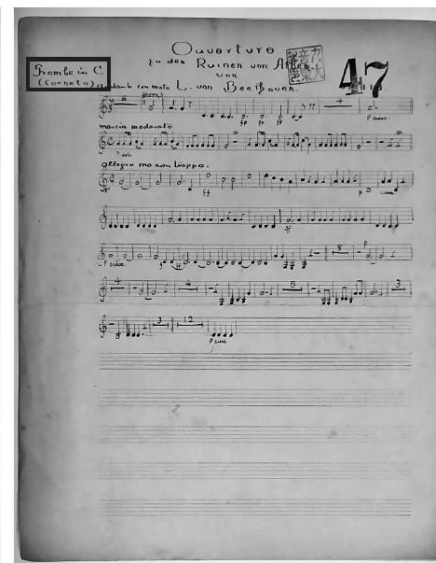
✓ 参考：幸島光義「九大フィルハーモニー会と陶晶孫」

『中国文学論集』（九州大学中国文学会）42, 2013

■ 留学生在多个领域的重要贡献

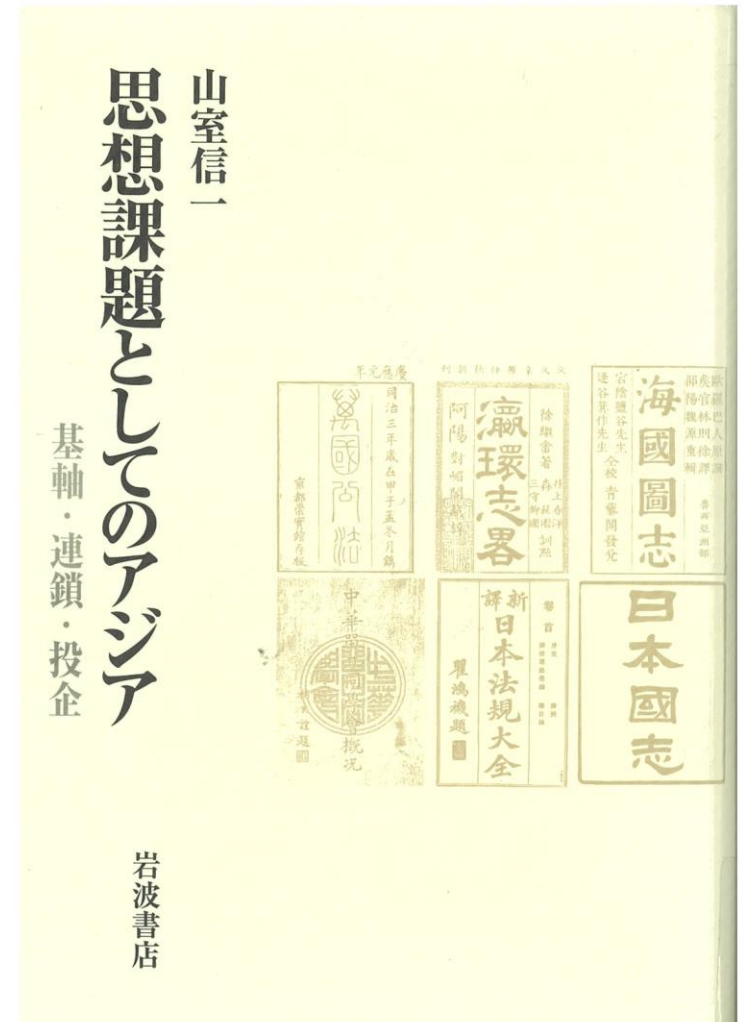


図版① 第21回定期演奏会での写真（九大フィル所蔵）。陶は舞台奥中央でコントラバスを左手に抱えている。（矢印部分）



山室信一『思想課題としてのアジア：基軸・連鎖・投企』 岩波書店, 2001

- 京都大学教授山室信一提倡，以“**思想機軸、思想連鎖、投企 (project)**”为三个视角，重新看待亚洲的近代史。
- 其贡献在于对有关“亚洲”叙述之思想史的大量个案考察和实证分析，特别是他提出的**三个概念或者说三个方法论的新视角**尤其值得关注，他的研究扩大了“亚洲”研究的视野和范围。



山室信一『思想課題としてのアジア：基軸・連鎖・投企』 岩波書店, 2001

■思想連鎖

- ✓ある時代、ある次元での思想・制度が時代を超え、社会を超えて伝わり、衝迫力をもって新たな思想や社会体制の変革を喚び起こす原因となり、いかに連動性をもって変化していったかに着目する。
- ✓试图关注某一时代某一层面的思想和制度，如何超越时代与社会而获得传播，成为以强大冲击力唤起思想及社会体制变革的动因，并关注上述内容是如何彼此影响不断变化的。

山室信一『思想課題としてのアジア：基軸・連鎖・投企』 岩波書店, 2001

- ✓ 人と人、情報と情報の交流と伝達が政治社会の枠を超えて成り立ち、その循環過程の一環として思想が現われ、世界的規模で流通し、受容と反発が継起していくことにおいて、世界ひいては日本を含むアジアの近代の特質が現われたという側面に注目する。
- ✓ 人与人、信息与信息的交流和传达，超越政治社会范畴而得以实现；而思想正是作为这个循环过程的一个环节而出现，并在世界范围内不断传播，或被接受或受到排斥，世界乃至包括日本在内的亚洲的近代特性正是在这个过程表露出来的。而这一点正是我们特别关注的。

山室信一『思想課題としてのアジア：基軸・連鎖・投企』

岩波書店, 2001

✓ **思想連鎖の回路**としては翻訳を含む印刷物、留学、お雇い外国人教師、そしてアジア各地の人々によって組織されたインター・ナショナルな結社などが挙げられる。植民地統治もまたこの回路のひとつと見ることも不可能ではない。この回路の具体的分析をつうじて、アジアがいかなる人的・知的交流によって具体的につながり、それがひとつのまとまりをもったものとして認識されるに至ったかが明らかになるであろう。

✓ **作为思想连锁的渠道**，可以列举包括翻译在内的印刷物、留学、外国教师聘任、以及亚洲各地所建立的国际社团。在某种意义上，殖民地统治也可视为渠道之一。通过对此渠道的具体分析，我们能够看到人际交流和知识交流是如何将亚洲联系到一起并作为一个整体被人们所认识的。

山室信一『思想課題としてのアジア：基軸・連鎖・投企』 岩波書店, 2001

- 第2部「アジアにおける思想連鎖」
 - 第6章「知の回廊」 第1節「思想連鎖の回路としての留学」
 - 表2「日本留学・視察経験のある各省諮議局議員」
 - 表3「日本留学・視察経験のある参議院議員」

受“思想连锁”概念的启发扩大了研究对象

- 留学生史、留学史已成为众多研究领域公认的研究对象之一 → 2000年以降
- 「支那通」：被以往学者轻视、厌恶的战前的所谓“支那通”，因“思想连锁”这一概念为契机开始受到学术界重视
- 相田洋『シナに魅せられた人々：シナ通列伝』研文出版, 2014
- ✓ 後藤朝太郎、中野江漢、井上紅梅、辻聴花等

